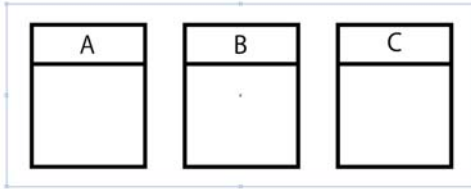


◆ BMP データ (画像化) 出力方法

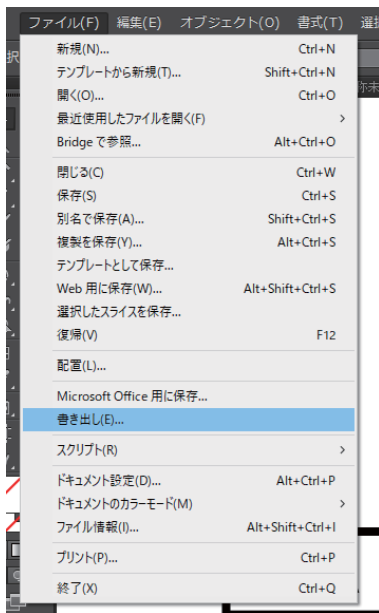
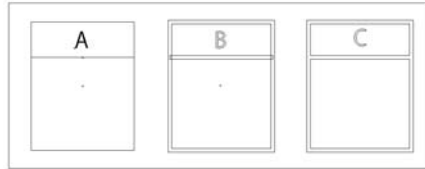
メリット：画像データにするので見たままの彫刻 (出力) が可能

注意点：レーザー機の設定が別枠になる為、設定の確認が必要
カットする場合、ソフト内か別でデータの作成が必要
内容を調整するごとに書き出しを行う必要がある。

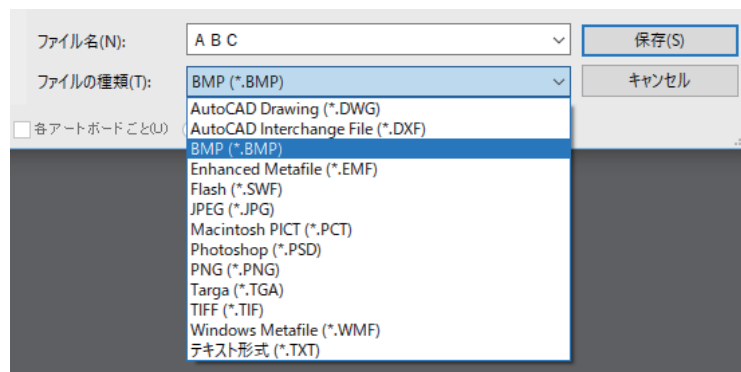
通常 (プレビューモード)



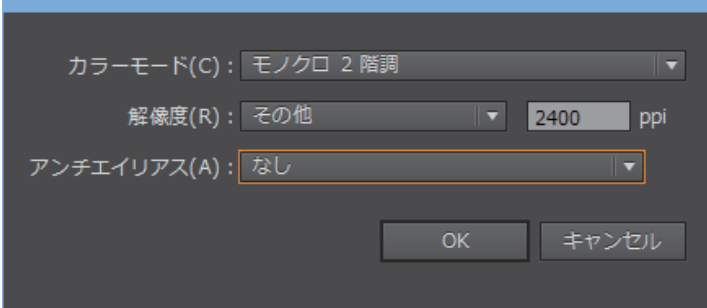
アウトライン表示 (Ctrl + Y)



- 1、【ファイル】から【書き出し】を選択
- 2、【書き出し】からファイルの種類
→BMP を選択、保存

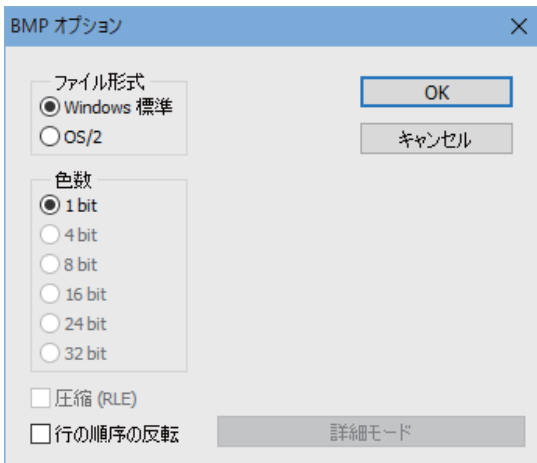


ラスタライズオプション



- 3、【ラスタライズオプション】が出るので
カラーモード：モノクロ 2 階調
解像度：その他 2400ppi (最大)※
アンチエイリアス：なし

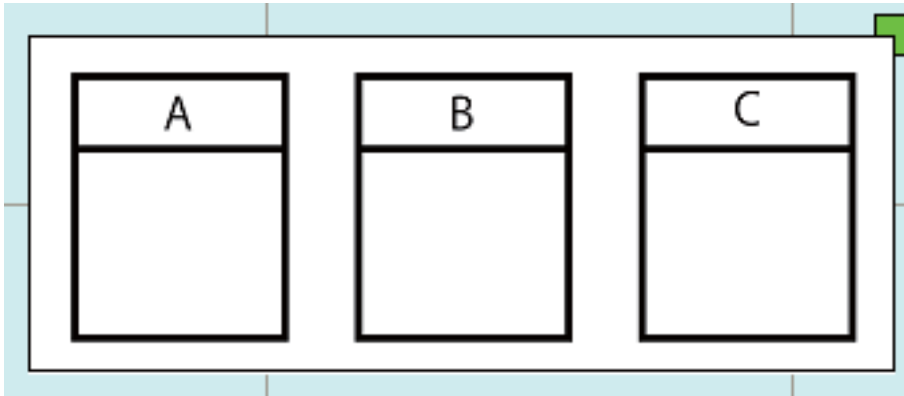
→【OK】で進む ※解像度は 1000ppi 以上あれば
問題はありませんが
高いと仕上がりも綺麗です。



- 4、【BMP オプション】

- Windows 標準
 - 1bit
- 【OK】で保存

データインポート時の画像



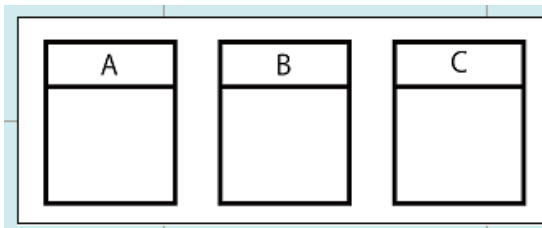
傾斜彫刻で白を彫り、彫刻時は黒のみを彫ります。

◆注意点

BMP データはパスの範囲で出力されるので、
余白分のパスを入れる必要がある。

※アートボードのサイズは関係ありません

印面内容 + パス



印面内容のみ

